



実証ハウスだより

Vol.1 2016年6月

発行者

トヨタネ株式会社
 施設部プロファーム事業室
 電話番号: 0532-45-4137

2016年 実証ハウス概要

【施設概要】

住所: 豊橋市東高田町 371
 面積: 1280 m² (うち栽培区画 1120 m²)
 被覆材: エフクリーン単層
 軒高: 3.4m

【栽培概要】

- ・作物: 大玉トマト(りんか 409)
- ・台木: グリーンセーブ
- ・定植日: 2015年8月3日
- ・栽培方式: ヤシ殻培土連続ベッド
- ・株数: 3132本

【今作の主な取り組み】

- ・栽植密度の違いによる収量・作業性の比較 (2.5本/m², 3.3本/m²区)
- ・天窓を使わない換気・除湿管理の検討
- ・LED補光による収量増への効果検討
- ・作業改善の取り組み

NEW TOPICS

【*G-GAP 取得しました！】

5月にG-GAPを取得しました。実証ハウスでの生産工程が、国際的な基準を満たしていることが認められたこととなります。日本国内では196件(2014年6月現在、農水省HPより)で認証取得されています。



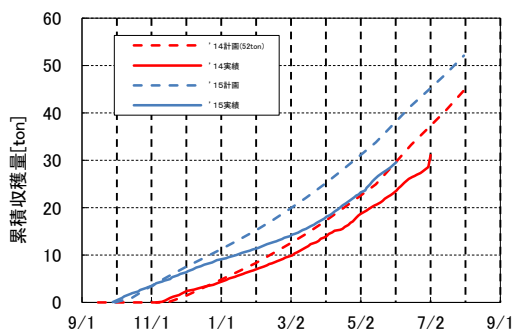
*G-GAPとは？

「GAP」とは、Good Agricultural Practiceの頭文字を取ったもので、農業生産工程管理、適正農業規範などと訳され、「食べる人の安全(食品安全)」「作る人の安全(労働安全)」「地球環境の安全(環境保全)」を担保するための農場管理基準を定めています。なんだか難しそうですが、簡単に言うと農業版のISOのようなもの。農場での生産工程管理について第三者機関のチェックを受け、認証機関の基準を満たしていれば晴れてGAP取得となります。日本基準であるJ-GAPと、国際的に通用する基準であるG-GAPがあります。(参考 URL <http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html>)

今月の実証ハウス

【生育状況】

24段目を収穫中、30段目開花
 5/30よりホルモン施用開始、6月中旬にピンチし7/25頃に作終了予定です。
 日射量が低下している中、作業性も悪いいため葉数を減らしていきます。



実証ハウスあれこれ

【作業改善 Vol.1: 作業要領書編】

実証ハウスでは、自動車生産の現場で培われた「カイゼン」の考え方を農業の作業工程にも適用する取り組みを行っています。これから数回にわたり、作業改善の取り組みを紹介したいと思います。

第1段は、「作業要領書」です。いわゆる、マニュアルですね。要領書は葉かきやつる下げ、収穫などの工程ごとに作成されています。そこには、作業の概要や目的から始まり、必要な道具、手順、チェックポイントなどが記載されています。これを見ることにより、新しくパートさんが入って来てもスムーズに仕事を覚えることができるとともに、改善できる箇所の検討にも使うことができます。プロファームモニターサービスをご利用のお客様は、作業要領書を専用サポートサイト(Profarm Support Site)から見るができますのでご活用ください。